

神にしたがって牧養する (1)

主イエスと使徒パウロの模範にしたがって、

人々をはぐくみ養うことによって牧養する

聖書：ヨハネ 10:11. ヘブル 13:20. I ペテロ 5:4. エペソ 5:29.

ヨハネ 21:15-17. 使徒 20:20, 28, 31. II コリント 11:28-29. I コリント 9:22.

II コリント 12:15. I コリント 8:1. 13:4-8 前半

I. わたしたちは、主イエスの務めにおける模範にしたがって人々を牧養し、神の永遠の
エコノミーを完成する必要があります——マタイ 9:36. ヨハネ 10:11. ヘブル 13:20.

I ペテロ 5:4 :

A. 神の全体的な救いにおける神の新約エコノミー全体の内容は、わたしたちをはぐく
む人の子としての、またわたしたちを養う神の子としてのキリストです——エペソ
5:29 :

1. キリストは人の子として、来てわたしたちを罪から贖い、彼の死を通して彼の法
理的な贖いを完成しました (I テモテ 1:15. エペソ 1:7) ——はぐくみ。
2. キリストは神の子として、来て神聖な命をわたしたちの中へと豊かに分け与え、
彼の復活の中で彼の有機的な救いを完成しました (ヨハネ 10:10. I コリント 15:45
後半) ——養い。

B. ルカ第 15 章において、主イエスは、罪人に対する三一の神の救う愛を明らかに示
しました—— 1-2 節 :

1. わたしたちは、墮落した人々を捜し求めて得る、手順を経た三一の神の足跡に従
う必要があります—— 3-7, 8-10, 17-18 節。
2. わたしたちが御父の愛し赦す心と、救い主の牧養し捜し求める霊を持っていない
ことが、わたしたちが実を結ばないことの原因です。
3. わたしたちは、イエスの人性において人々をはぐくむ必要があります (彼らを幸
いにし、彼らに喜ばしく、心地よいと感じさせる) ——マタイ 9:10. ルカ 7:34。
4. わたしたちは、キリストの神性において人々を養う必要があります (三つの時期
から成るキリストの務めにおいて、すべてを含むキリストをもって彼らを養う)
——マタイ 24:45-47。

C. キリストが来たのは裁判官としてではなく、医者としてであり、それはらい病の人
(8:2-4)、中風の者 (5-13 節. 9:2-8)、熱で苦しんでいる者 (8:14-15)、悪鬼にとり
つかれた者 (16, 28-32 節)、あらゆる種類の病で病んでいる人たち (16 節)、さげ
すまれた取税人や罪人を (9:9-11) いやし、回復し、生かし、救うためでした。そ
れは彼らが再構成されて、彼の天の王国の民となるためでした—— 12-13 節。

D. 彼がサマリアを通過しなければならなかったのは、意図的にスカルに回り道をして
一人の不道德な女を得て、ご自身に飲ませるように彼女に尋ねることによって彼女
をはぐくみ、命の水としての流れる三一の神をもって彼女を養うためでした——ヨ
ハネ 4:3-14。

E. 罪のない方として、彼は姦淫の女を罪定めするのではなく、彼女をはぐくんで法理

的な面で彼女の罪を赦し、有機的な面で彼女を罪から自由にしました—— 8:1-11, 32, 36。

F. 彼がエリコに行ったのは、ただ一人の人、すなわち、取税人のかしらを訪問して得るためでした。彼の宣べ伝えは牧養でした——ルカ 19:1-10。

G. 彼は、子供たちに手を置くことによってその両親たちをはぐくみました——マタイ 19:13-15。

H. 十字架を通してキリストによって救われた最初の者は、死刑の宣告をされた強盗でした——ルカ 23:42-43。

I. 主がペテロにご自身の小羊を養い、ご自身の羊を牧養するように委託したことは、使徒たちの務めと主の天の務めとを合併して神の群れを顧みるためでした。それはキリストのからだである召会を生み出すことです——ヨハネ 21:15-17. ヘブル 13:20.

I ペテロ 5:1-4. 2:25. 参照、ヘブル 13:17 :

1. キリストは彼の天の務めにおいて、大祭司として胸に金の帯を締めており、諸召会をはぐくみ牧養しています——啓 1:12-13。

2. キリストは彼の天の務めにおいて、羊の大牧者であって、神の永遠の契約にしたがって新エルサレムを究極的に完成します——ヘブル 13:20-21。

II. わたしたちは、良い牧者としての使徒パウロの模範にしたがって人々を牧養し、神の群れを顧みる必要があります—— I テモテ 1:16. 使徒 20:28 :

A. パウロが聖徒たちを牧養したのは、養う母として、また勧めをする父としてでした—— I テサロニケ 2:7-8, 11-12。

B. パウロがエペソの聖徒たちを牧養したのは、彼らに「公にも、また家から家でも」教えることによってであり（使徒 20:20）、また三年の間、彼ら一人一人を涙をもって訓戒し（31, 19 節）、彼らに神のみこころをすべて言い表すことによってでした（27 節）。

C. II コリント第 3 章 2 節から 3 節が啓示しているのは、パウロが本質としての命を与える霊をもって、キリストの生ける手紙を書いたということです :

1. 信者たちはキリストの手紙であるので、彼らはまた使徒たちの心に書き記された手紙でもあります。今日わたしたちがキリストを他の人たちに供給しているとき、キリストはわたしたちが供給している人の中で、また同時にわたしたちの中で書かれています。

2. これが意味するのは、わたしたちは自分がキリストを供給した人たちを決して忘れることはあり得ないということです。一度で書くことが二つの原本を生み出し、二つの心が一つになることと関係があります。

D. パウロは、信者たちに対して親密な心遣いを持っていました—— 7:3. ピレモン 7, 12 節。

E. 彼は弱い者たちの水準に下って来たので、彼らを得ることができました—— II コリント 11:28-29. I コリント 9:22. 参照、マタイ 12:20。

F. 彼は聖徒たちのために、喜んで彼が持っているもの、すなわち彼の財物を費やし、彼であるもの、すなわち彼自身を費やしました—— II コリント 12:15。

G. 彼は注ぎのささげ物であって、ぶどう酒を生み出す方としてのキリストと一であり、

自分自身を犠牲にして他の人たちにキリストを享受させました——ピリピ° 2:17. 士 9:13. エペソ 3:2。

H. 彼は霊の奉仕者であって、その霊で満たされてその霊によって歩いて神に栄光を得させることによって神の霊を尊び、人にその霊を供給して彼らの供給とすることによって人を尊びます——Ⅱコリント 3:6, 8. ガラテヤ 5:16, 25. 士 9:9。

I. パウロが彼の教えの中で示したのは、召会は人々を養育する家庭であり、彼らをいやし回復する病院であり、彼らを教え啓発する学校であるということです——エペソ 2:19. Ⅰテサロニケ 5:14. Ⅰコリント 14:31。

J. パウロが啓示したのは、わたしたちがキリストのからだを建造するために、何になろうとも何を行なおうとも、愛が最も卓越した道であるということです—— 8:1. 12:31. 13:4-8 前半。

Ⅲ. 「わたしたちがこの牧養する負担を受け入れることによって、わたしたちの間に真の復興があるようになることを、わたしは望みます。すべての召会がこの教えを受け入れ、キリストのすばらしい牧養にあずかるなら、回復の中に大きな復興があります」——「バイタルグループ」、メッセージ 4。